

大和映像サロン ニュースレター

令和7年 8月号 No.532

2025年（令和7年）8月1日発行

2025年7月勉強会報告

7月10日（木）14時00分から、勉強会をシリウス 606号室にて開催しました。

出席者 佐藤、嶋崎、関、土屋、野田、樋口、
三浦、山本 以上 出席者 8名
欠席者 4名、通信会員1名

前回欠席されていた樋口さんが今回から出席です。
手術からの回復も順調で、リハビリの運動も兼ねての出席とのことですが、新作も持参されました。

「暑い!」、「気力がでない!」なんて我々も言っ
てられません。

いよいよ本格的夏です。

どうか熱中症には気をつけて、今年の「大和映像ま
つり」の出品にそなえましょう。

会長報告・連絡事項

- 1) 大和市生涯学習センターより会員登録決定通知書が届きました。
- 2) 大和市では子どもたちに「平和」の尊さについて考えてもらうために、広島で行われる平和記念式典と講演会への出席そして資料館の見学に、毎年小中高生を派遣しています。

その参加結果の発表会が今年も大和市で行われますが、その記録撮影の依頼が来ました。 撮影にご協力をお願いします。



7月勉強会 講師 山本会員

テーマ：「今さら聞けない『4K』って？」

最近購入されたという4Kビデオカメラ（Panasonic）の使い勝手と、疑問点を説明されました。

長所は長年親しんできたカメラの操作に近いという
ことがあるようです。

スマホカメラのように液晶に表示されるボタンは、
操作の都度その内容や位置が変わり、覚えられないと
いうことが問題のようです。

また、これまでストックしてきた映像と同じ媒体
（Blu-rayディスク）に保管し、TVに表示したいということ
もあるようです。

古い機械を大切にする年配者には、デジタル機器は優
しくないと指摘する講師でした。

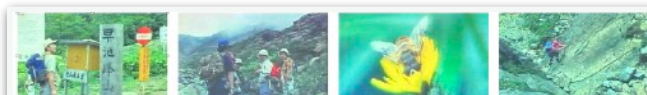


7月勉強会発表作品

- 1) 「早池峰花紀行」 10:00 野田 和男
撮影：1987年 カメラ：フジ HI-8

早池峰（はやちね）山は、岩手県の北上山地にあ
り、高山植物の宝庫だそうでそうです。
この山に仲間と登った時に、高山植物に詳しい高校の

先生と出会い、いろいろ教わりながら頂上を目指します。
38年前の作品を引っ張り出し、10分にまとめた作品。
ナレーションの音が若々しい。



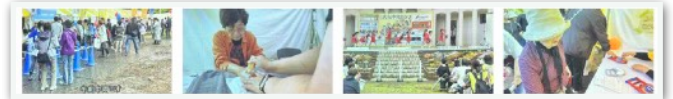
Yamato Eizo Salon News Letter

2) 「大和市民まつり」 7:00 樋口 和子

撮影：2025年5月 カメラ：iPhone 16

久しぶりに立ち上げたEDIUS。リハビリにカットを並べただけの作品とのこと。日本語の変換がおかしくなり、苦勞。どうやらマイクロソフトのIME（日本語

変換）のバグらしい。ネットで調査して、対応してくださいと、会員からの助言。（ちょっと冷たかったんじゃない？ > 出席者のみなさん）

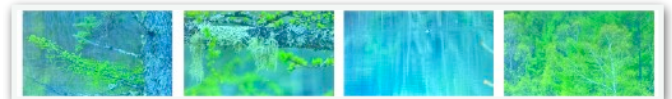


3) 「映像詩 落葉松の春」 3:20 佐藤 昌孝

撮影：2025年5月 カメラ：パナソニック FZH1

6月の勉強会で発表した作品のBGMが気に入らなかったため、ある会員が推薦した曲に変更した作品。

今回の曲は、ゆったりした明るいワルツ。
雰囲気変わった御射鹿池（みしゃかいけ）の新緑。
これもいいですね、「今だけのカラマツの春」。



4) 「遠い記憶 海峡の街 下関」 10:00 嶋崎 哲

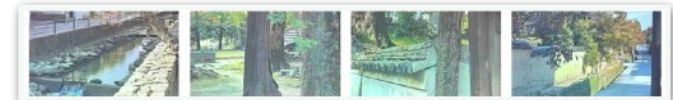
撮影：2019年 カメラ：Sony RX100/M5

2019年に作成した作品のリメイク。ナレーションを入れ、一部のBGMを変更したもの。今年の大和映像まつりに出品の予定。

「問題はナレーション。声がかすれて、とにかく聞きづらい。自分で聞いていて、耐えられない！」と作者。

でも、「大丈夫だよ」と励ます会員。

「うーん、いいのかなあ？ ないよりマシということか……。まだ悩んでいます。」



5) 「その日ぶらりと一万歩」 6:00 撮影：2024年

山田 乾一（元・会員）

横浜の散歩映像。作者は元会員で会長宛に送られてきた作品です。再入会のお誘いをしているそうです。

ナレーションに作者独特の味があって、見慣れた場所であっても、もう一度行ってみようと思わせる楽しい作品に仕上がっています。



Yamato Eizo Salon News Letter

2025年7月定例会報告

7月24日（木）14時00分からシリウス 606号室にて、7月の定例会を行いました。

出席者 片野、佐藤、嶋崎、土屋、樋口、三浦、山本
以上 出席者 7名
欠席者 5名、通信会員1名



会長報告・連絡事項

1) 今年10月の「大和映像まつり」の上映作品の締め切りは8月28日（木）です。

出品票をお渡ししますので、作品の題名、長さ（時間）、コメント（40文字以内）、氏名を記入して事務局まで提出してください。

招待はがきとプログラムの作成の都合がありますので、期限の厳守をお願いいたします。

2) 暑い日が続きます。 健康に留意してください。



7月定例会発表作品

1) 「日光東照宮」 10:00 山本 禎弘

勉強会参考作品（制作：発表者の知り合い）
前回の勉強会（7月10日（木））で使用する予定だった4Kビデオ作品。 大修理がほぼ終わった日光東照宮の映像です。

新しくなった陽明門、唐門、本殿などが4Kビデオカメラで、美しく鮮やかに捉えられています。

知り合いが作ったこの4Kならではの映像に心が動かされ、講師の山本会員は4Kビデオカメラの導入に踏み切ったようです。



2) 「尾瀬ヶ原 夏の色」 10:00 佐藤 昌孝

撮影：2017年7月 カメラ：不明（パナソニック）
夏と秋の尾瀬ヶ原の風景で作品を作ろうと映像を撮りためていたところ、HDDがクラッシュ。

作りかけていた映像が残っていたので「夏の色」と

して完成させた作品。 夏の緑、草花のアップ、澄んだ水。 尾瀬の雰囲気をよく捉えていました。



Yamato Eizo Salon News Letter

3) 「国東半島武蔵町」 9:00 土屋 翁三

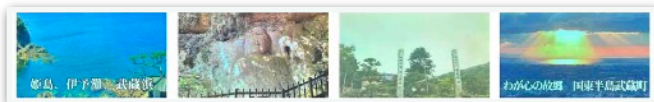
撮影：2002年 カメラ：多数

知り合いから頼まれて、アマチュア歌手が自ら録音したCDを元に地元の写真を挿入して作った作品。

歌詞に合わせた背景映像を選び、依頼者が歌う姿も

挿入されています。 もちろん歌詞のテロップも。

「感動した」との依頼者の言葉にとっても嬉しくなり、つくり甲斐があったとのこと。



4) 「白川郷 五箇山」 5:00 樋口 和子

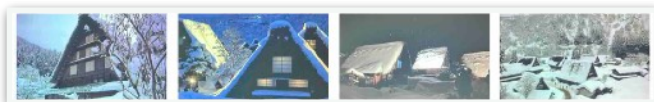
撮影：2015年2月

白川郷と五箇山のライトアップツアーに参加した時の映像。

雪の中の白川郷が幻想的に浮かび上がるようなカメラアングルで撮影されています。

カットの切り替えもテンポよく、気持ちよく見る事ができました。

この作品を「大和映像まつり」で出品するよう多くの会員から推薦がありました。



5) 「蝶々の館（やかた）」 8:30 山田 乾一

(元会員) 参考作品

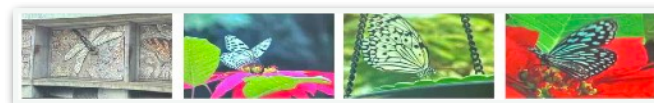
多摩動物公園にある「蝶々の館」で撮影した作品。

動物園や昆虫などの映像は、ただ並べただけでは、退屈な作品になりがちです。

この作品はストーリーがよく考えられていて、さらに巧みな間合いのナレーションで見る人を引き込み、

親父ギャグも加えて、笑わせます。 さすがです。

気持ちに余裕があって、あそび心がなければ、こういう映像は作れないように思います。



あとがき

風景や旅行、山の映像が増えてきたように思います。街なかでカメラを構えると、これまでより人の目が気になります。

面白おかしい映像を次から次へと作ってYouTubeに投稿し収益化する。 カメラはそんな風潮の道具になったようでちょっと寂しい気がしています。

編集子2024

8月の開催

勉強会	8月14日（木）14:00 - 606号室
通常例会	8月28日（木）14:00 - 606号室



大和映像サロン

発行・事務局 土屋 翁三

〒242-0012 大和市深見東1-1-12 TEL 046-263-6623 FAX 046-264-7350